

## ◆朝日新聞社賞◆

〈学校教育部門〉

## 「マルチメディア新聞『ぎふ未来教育新聞2002』の制作と発行について」

岐阜県岐阜市教育研究所

〒501-3133 岐阜県岐阜市芥見南山3-10-1

## ■実践事例報告の概要

岐阜市全小・中・養護学校72校が、動画・音声を含んだマルチメディア新聞「ぎふ未来教育新聞2002」の制作に取り組んだ。それにより、ITスキルが格段に向上し、教育情報発信の新しい形が学校ホームページなどにも反映されていった。

## 実践のねらい

市内の全小・中・養護学校72校の情報教育担当者が、動画・音声を含んだマルチメディア新聞「ぎふ未来教育新聞2002」の制作に取り組んだ。この新聞制作をベースとした研修を通して、各学校の担当者の動画編集技能、Webページ作成技能の向上を図るとともに、新たな情報発信の可能性を探ることをねらい、実践を行った。

## 特徴・工夫・努力した点

情報機器の活用や情報教育の充実を目指して、これまでも各学校の情報教育担当者を対象とした

研修会を実施してきた。しかし、これまでの研修会は、伝達講習の色合いが濃く、受講者が受け身的に参加をする傾向が見られた。主体的に研修に参加することが、本市の情報教育をさらに充実させることにつながると考え、次のような点を工夫して研修を行った。

- ・マルチメディア新聞の制作と発行という年間6回の研修の出口を明確にする。
- ・動画編集の研修、Webページ作成の研修等を意図的に位置付けスキルアップを図る。
- ・新しい情報発信の方法を公表会「ぎふ未来教育フォーラム2002」において、全教職員へ広める。  
〔公表会URL <http://www.gifu-gif.ed.jp/city/event/forum2002/>〕

## 「ぎふ未来教育新聞2002」創刊の案内

ぎふ未来教育新聞 2002

2002年8月27日、学校インターネット公表会の開催を記念して、岐阜市独自の企画「ぎふ未来教育新聞」を創刊します。毎週月曜日と木曜日に電子メールで各学校に配信されます。その新聞は「しゃべる新聞」というコンセプトで制作され、今まではなかったものです。コンピュータを通して、各学校の実践や先生方の創意工夫をつかみとることができます。あなたの実践が、各学校に届く日は近いと思います。楽しみにしていてください。

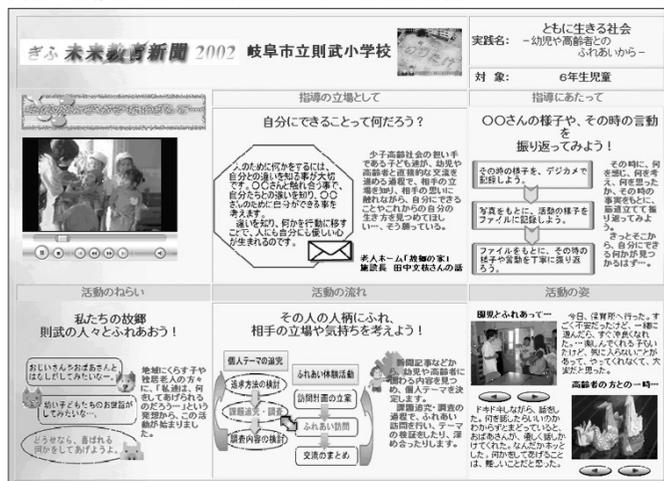
新聞が動く!

新聞がしゃべる!

※表示コーナーのコンピュータでは、特別に全紙を閲覧することができます。また、午後12時40分より、大会議室にてコンテンツの表彰式を行います。ぜひご参加ください。

<http://www.gifu-gif.ed.jp/city/>

## 資料・研修において作成したマルチメディア新聞



## 実践内容

本講座は、各学校の情報教育推進のためのリーダーを育成することを目的として、情報教育担当者を対象に、年間6回実施している。平成14年度の研修を動画編集技能の向上に焦点を絞り、「ぎふ未来教育新聞2002」の制作を通して、スキルアップを図っていくことにした。資料に示したものが、本研修において実際に作成したマルチメディア新聞の例である。この新聞が完成に至るまでに、次のようなステップを踏んできた。

- ①新聞のシナリオ・割付け案づくり
- ②動画編集の基本研修
- ③ホームページ作成の基本研修

これらの研修を、教育研究所の情報担当のスタッフが適宜、講師として指導に当たったり、サポートに入ったりし、個々の先生方の取り組みを支援した。その結果、受講したすべての先生に新聞を完成させていただくことができた。

## 実践結果

今回の実践の一番の成果は、市内の全小・中・養護学校72校が、マルチメディア新聞「ぎふ未来教育新聞2002」を制作し、ホームページ上で公開できたこと、電子メールを通じて配信することができたことである。現在も、マルチメディア新聞は、「岐阜市教育情報ネットワークポータルサイ

ト」[<http://www.gifu-gif.ed.jp/city/>]から閲覧可能になっている。

この取り組みを通して、情報教育担当者のスキルは格段に向上した。ホームページ作成や動画編集についての研修を行ったため、市内の学校のホームページ開設の促進につながったり、ホームページの中に動画が位置づけられるようになったりという変化がみられるようになってきた。一枚のマルチメディア新聞を作り上げたという自信が、次への取り組みに対する意欲につながっていったのではないと思われる。

## 考察（今後の課題）

この新聞の取り組みは、各学校の運動会を紹介するためのフォーマットに用いられるなど、さまざまな教育情報の発信に広がってきている。

昨年度の研修後に、ITコーディネーターから次のような声を耳にした。「新聞と同じフォーマットなので、枠にしばられない表現をしたかった」「個人作業が多いので、初心者には難しかった」等々。これらの意見をもとに、個々での取り組みからプロジェクトチームを組んで、学校間のつながりを有効に活用できるような研修を仕組んでいくことの大切さを感じた。

今後、この課題をふまえ「ITプロジェクト研修」を新たなテーマとして、研修の充実を図っていきたい。